Tradcanvas イージーセット キャビンテント XL-BE

No.71201171

設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。

部品構成表

生地×1	トップカバー×1	
ペグ（スチール） ※サービス品	ロープ 3M×4 2M×4 ※装着済み	ハンマー×1 ※サービス品

注意

- テント内では、絶対に火気を使用しない。（火災や一酸化炭素中毒による事故のおそれ）
- 大雨・強風時はテントを設営・撤収しない。（けがや破損のおそれ）
- 水辺には設営しない。（急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ）
- ペグで地面に固定する。（テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ）
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。（落下によるけがのおそれ）

上手な使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- 付属のペグとハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

設営方法

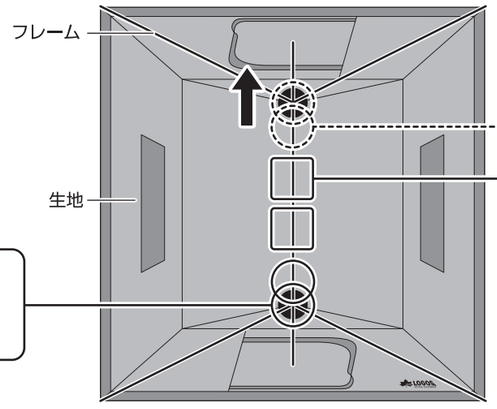
- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 生地を広げ、中央のフレームを伸ばす

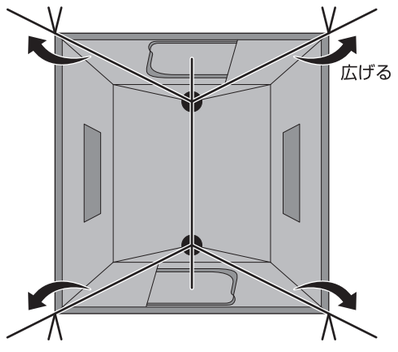
- 一人が一方のジョイント部分を支え、別の一人が反対側を持ってフレームを伸ばす。
- ロックボタン（2か所）がカチッとなるまで、確実に伸ばす。

！ フレームを伸ばす際は、生地がひっかかったり絡まったりしていないことを確認する。（無理に伸ばすと、破損や生地破れのおそれ）

注意
- フレームやジョイントで、手や指を挟まないよう注意する。



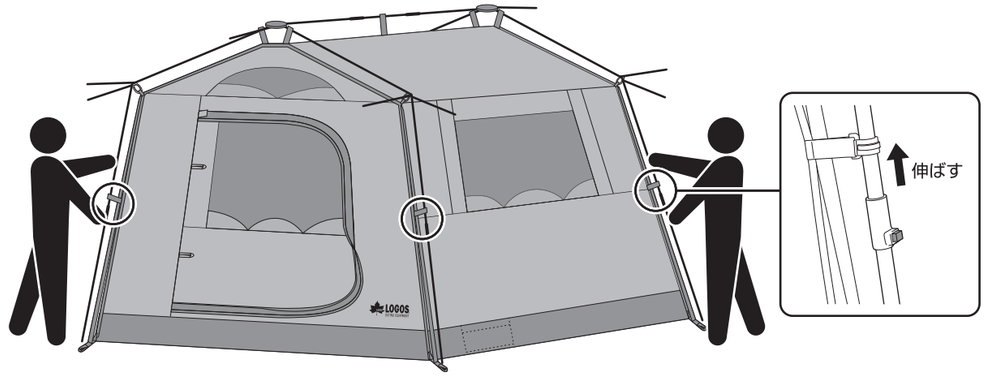
2 四方のフレームを広げる



3 四方のフレームを伸ばして、テントを立ち上げる

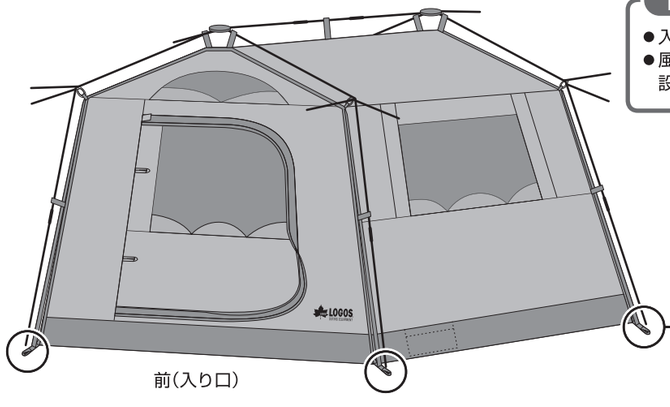
- 一人が一方のフレームを支え、別の一人が反対側のフレームを伸ばす。
- ロックボタン（4か所）がカチッとなるまで、確実に伸ばす。

注意
- フレームの先端が外を向いているため、目などに当たらないよう注意する。（けがのおそれ）



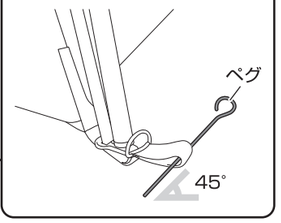
4 四隅を地面に固定する

- ペグは4か所打ち込む。



Point
- 入り口が風下になるようにしてください。
- 風が強いときは、風上側から固定すると設営しやすくなります。

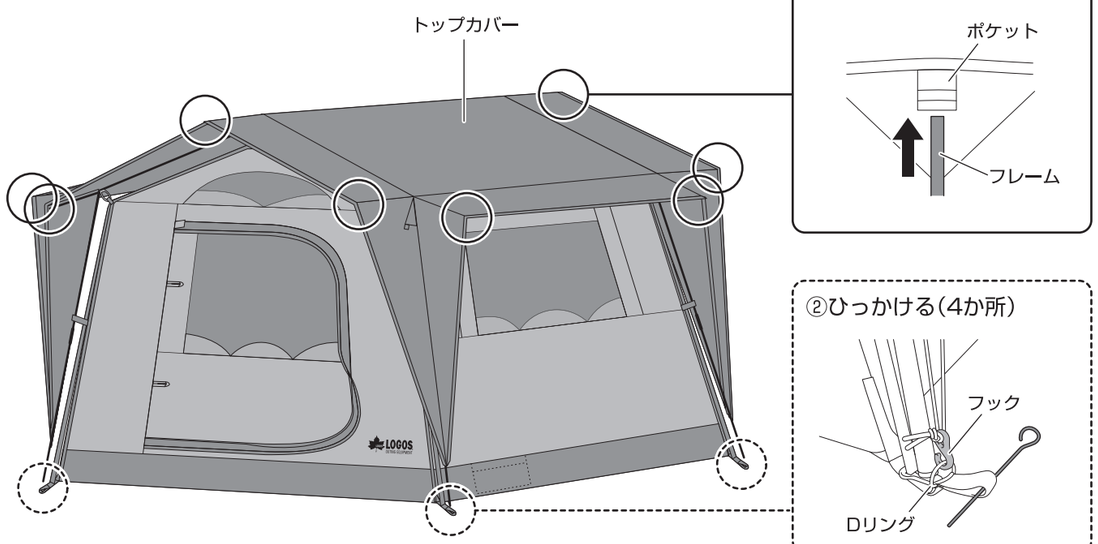
固定する（4か所）



続きは裏面を見てください。

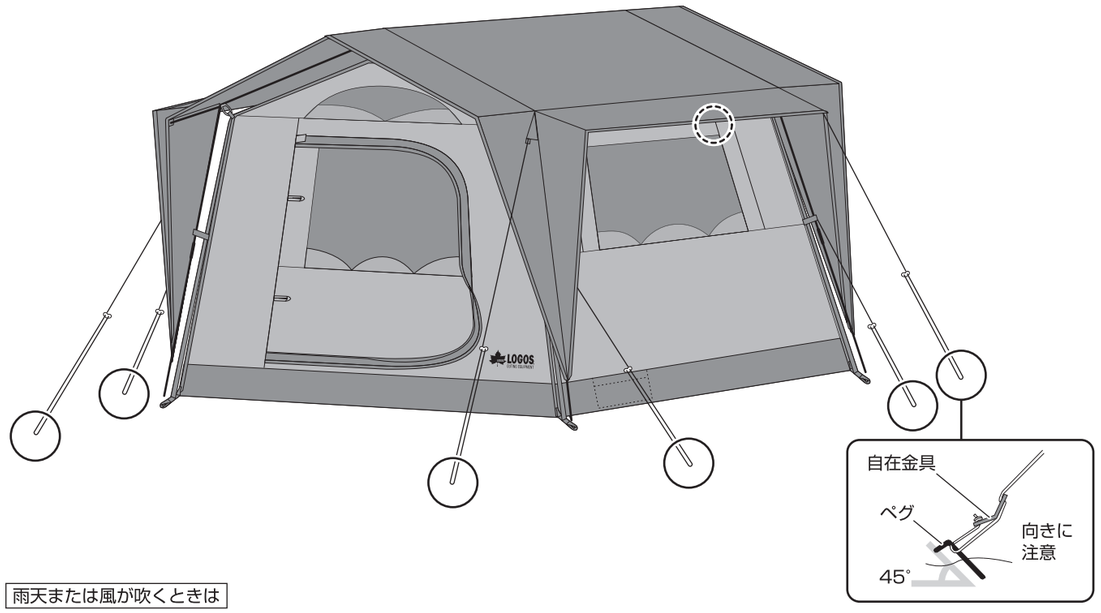
5 トップカバーを取り付ける

- トップカバーをかぶせて、フレームの先端をトップカバーのポケットに差し込む。（10か所）
- 四隅のフックをひっかけて固定する。



6 ペグで地面に固定する

- ペグは8か所打ち込む。



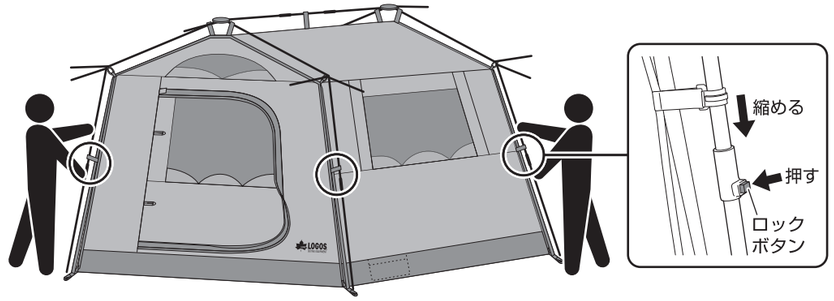
雨天または風が吹くときは

トップカバーのバタつきを軽減するため、図の◌のループから補助のロープ※を引いてください。
このロープは、地面に対して緩めに（カバーがバタつかない程度に）固定してください。
きつく張りすぎると、天井部分のフレームのロックが解除され、フレームが収束してしまうことがあります。
※別途2本のロープ（3m以上）とペグ2本をご用意ください。

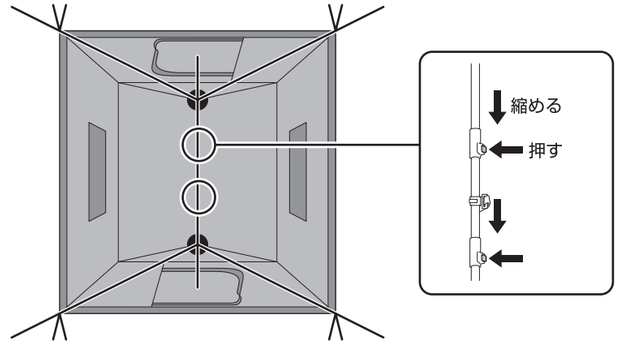
収納のPoint

収納前に完全に
乾かしてください。

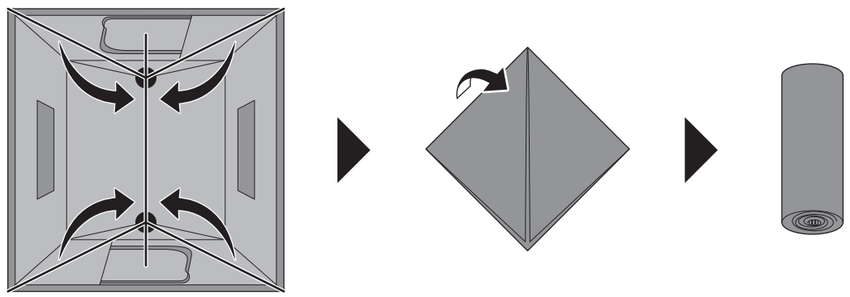
①トップカバーを取り外す
②ロックボタンを押しながら四方のフレームを縮める
・各フレームを同時に少しずつ縮めていく。



③ロックボタンを押しながら中央のフレームを縮める



④四方のフレームを中央に集めるようにたたむ
⑤フレームを芯にして生地を巻く



Designed by
LOGOS CORPORATION
発売元：
株式会社 ロゴス コーポレーション
〒559-0025 大阪市住之江区平林南2−11−13
お客様専用回線 0120-654-219（受付時間：平日10時〜17時迄）
■ホームページ／www.logos.ne.jp
■全国キャンプ場の空き情報／www.campjo.com

- 最新の情報は商品ページをご覧ください。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

商品ページ▶

2025/06 HT